

# 西別院 だより

## お盆号



降誕会法要での初参式

**お盆参詣** 8月7日(金)より12日(水)の間でお盆参りに伺います。  
(あらかじめハガキにて、期日をお知らせいたします。)

**納骨堂の読経** 8月13日(木)より16日(日)の間、朝8時~夕方7時まで  
にお参り下さい。

**月忌参詣休止** 8月7日(金)より17日(月)まで、月忌参詣をお休みさせて  
いただきます。

# 『ふと立ち止まる時、 亡き人を想う』



輪番 土原 世胃

お盆が近づく頃となりました。必ずニュースとなる、ふる里に向う家族づれ、迎える父母の笑顔、和やかな一コマ、日頃時間に追われ、外に向かっていた目と心をふと立ち止まらせていただくのが、お盆の時ではないでしょうか。

叱られた日も

なつかしや

墓まいり

いまは亡き、先立ちし一つの命を尋ね、このまことに、うなずいてゆくのであります。

亡き人を想う。なんと深い世界な

のでしようか。お盆のはじまりの目蓮尊者のことがふと思ひ出されます。目蓮が今は亡き母の命の行先を思い、そして尋ねたら、こともあろうに飢餓道に落ちていたというのであります。日頃、自分と自分の回りの事しか考えず、経済至上主義に振りまわされ、人間至上主義に、めぐらんでいる現代の生きざまをまのあたりにすることと、今一度命の根っこを思う心の大切さを考えさせられた目蓮は、母を迷わせたのはこの私であつたとめざめた所に、仏教の開眼の扉が開いたので。そこで仏陀をたずね、宇宙の根本道理にうなずき、すべてのものの命の解決と喜びがあつたといわれています。私達

見据えることなのであります。このことは、簡単なことではなく安易なことではないのです。まして、本能と欲望の満足が幸せであると考えることは、下の下であるといえます。

立ち止まりましょう

仏のよびかけに

は何か問題があるとすぐに、あの人が悪いとか、あれさえなければと原因を外にもとめがちですが、仏教は内への開眼を教えています。苦悩の原因を自分の煩惱の集まりであると

真宗に於いては俗にいわれている、その時だけ霊を向かえ見送るだけの形でなく、迷いの世界にひきずられることのない本当の生きがいと、死にがいを見出すことのできる不退の道が開かれていると教え下されています。

さわり多き人生のただなかに、碍りなき光を身に受けて「のりこえて生きる」道を確かめ、味わって命を尽くしたいと思うのであります。

合掌

3分間の心のともしび

TEL 27-1616

小樽別院テレホン法話

24時間いつでもどうぞ



## 降誕会を終えて!

毎年、降誕会にあわせるようにきれいに咲いてくれる別院の桜も今年は早く咲きすぎてしまい少し残念でしたが、今年もにぎにぎしく降誕会が修行されました。まず二十二日には双葉高校より新一年生が、又、二十三日には三園の園児達のお参りがあり、それぞれ本堂へ参拝しました。法要当日の二十四日は天気にも恵まれ、かわいい稚児さん達が稚児行列を行いました。



稚児行列

そしておごそかに本堂での法要がつとまり、続いて初参式が行われました。だんだん子供さんが少なくなってきましたが、今年には九人の子供達が初めて阿弥陀様にお参りをいたしました。

次項に、初参式受式者のお母さんとおばあちゃんより喜びの感想をよせて下さいましたのでご紹介いたします。

を終えています。当時、生後三か月の昂生は、入院中でした。

昂生は、生まれつき心臓が悪く、何度か手術を受けています。つらい事、悲しい事を、小さな体で受けとめ、何度も大きな山を乗り越えてきました。でも、悲しみが大きい分、喜びもそれ以上に大きく、ごくあたりまえのことが本当に幸せだと深く感じられます。

家族そろって公園に行くこと、買物に行くこと、共に眠り、また目覚めること、たわいない、日常の出来事が、喜びとして受けとれるのです。

子供たちが、このような生活環境の中で、人の痛みがわかる、心豊かな人生を送れることを信じています。

来年、最後の手術に望みますが、昂生の強い生命力と、家族の愛。それを支えてくれる回りの人達、そしてこの初参式でのお参りが強い力となって、また一つ大きな山を乗り越えてくれることと思います。

一つの節目として、初参式を終えたことに喜びを感じています。ありがとうございます。

共に初参式を迎えられた方々の健康を念じ申し上げます。

大村 ひろみ

☆五月二十四日、初参式に参列し、次男「昂生」が、お参りをさせていただきました。  
長男の「圭佑」は、平成八年五月に初参式

☆降誕会に、おにぎりを持って、お寺にお参りさせて頂きました。おでんを頂き、可愛いお稚児さんを見て、又クイズがあつて、その



初参式

クイズに答えられず困ったりしましたが、孫もとっても喜び楽しい思い出に残る一日となりました。初参式は身の引き締まる思いで出席させて頂き、ご輪番より、「阿弥陀様は私達全ての者を等しく守っていただきますから、仏の子として、大切に育てよ」とのお話を頂戴いたしました。私もご縁でこの可愛い孫のおばあちゃんにさせて頂いたので嬉しい世に、この孫のために何を手伝う事が出来るのだろうかと改めて考えさせられました。主人が早くお浄土に帰り、この可愛い孫の初参式も成長も見られず、とっても寂しく悲しく残念ですが、主人をご縁に子供達、孫、お姑さんと皆さんで、お寺へ出入りする事が出来、とっても身近に感じ、この幸せを有難く思いお念仏になります。子供、孫に真宗の教えを伝える事が私の役目で相続念仏に勤めたいと心がけています。五人の孫が健康に生まれ元気に初参式に出席させて頂いたことが何より有難く、お陰様で感謝一杯で家族のものが、朝夕お仏壇に向かい、日々、感謝の念仏をさせて頂いて居ります。ほんとうに有り難うございました。

本間 静枝

# 線香と焼香の使いわけについて……

## お香の意味

お香は体臭などの悪臭を除き、心身ともに落ちつかせてくれるところから、これを仏前にお供えすることが早くから行われてきました。芳しい薫りかぐわで、すがすがしくなり、心からお敬いする如来さまに接してきたのです。

また、そうしたお香をかぐことによつて清らかなお浄土を想い、さらには、誰かれと差別することなくゆきわたるお香の薫りから、如来さまの、わけへだてなく注いで下さるお慈悲の心にも触れさせていただきましょう。ところで、そのお香の種類は、一般家庭では線香と線香用のお香ではないかと思えます。いずれも香炉にくべるの言うまでもありませんが、香炉にも種類があり、使い分けられています。



まず、日常的に使われる線香の方は、土香炉どこうろと呼ばれる口の広い陶磁器製の香炉で燃やします。この際、線香は立てずに、短かく数本に折って横に寝かせます。

次に、法事などの改まった時に行う焼香は、蓋ふたのついた金属製の金香炉かなこうろを用います。つまり、火だねを入れて使用するのが金香炉なのです。時どき、金香炉で線香を燃やす方がいますが、金香炉では口が狭く、形の上からも線香を寝かせるには適していません。どうぞ土香炉を用いて下さい。

ただ、いわゆる「回し焼香」などおおせいの方が焼香する場合、お仏壇の金香炉では小さすぎることがあります。そんな時は土香炉を代用されてもよいでしょう。なお、回し焼香される場合、お盆を用意し、その左側に香炉を、また右側には刻んだお香を入れた香盒こうごうといわれる容器を置き



お盆の左側に香炉、右側に香盒を置く

ます。そんな時は土香炉を代用されてもよいでしょう。なお、回し焼香される場合、お盆を用意し、その左側に香炉を、また右側には刻んだお香を入れた香盒こうごうといわれる容器を置き



金香炉  
焼香に使うお香には沈香、十種香、五種香などがあります。



土香炉  
いお香をお使い下さい。  
香炉の配置に

たが、三具足としてローソク立て、花瓶とともに、金、土両香炉を前後に並べて置くのが正式ですが、どうしても両香炉を並べて置くスペースがない場合は、焼香する場合のみ金香炉を前卓に置き、それ以外は土香炉を置いておきます。

また、焼香の際、金香炉のフタは、スペースがあれば金香炉の左側に、香盒のフタは右側の縁に掛けます。

## 葬儀

株式会社 博禮社

〒047小樽市花園3-25-15

電話(代表) 23-0246番  
フリーダイヤル 012-012-8904

(写真参照)。

# 「盆踊り」開催のお知らせ

今般、本願寺小樽別院では盂蘭盆会(歡喜会)の法要を  
ご縁として、別院門信徒相互の交流並びに、地域住民の  
方々との親睦を深めることを目的として、夏の集い「盆踊  
り」を開催することとなりました。

ご門徒の皆様をはじめ、有縁の皆様にも多数のご参加を  
いただき、楽しい「盆踊り」といたしたいと思います。

## 記

### 1. 盆踊り日時

8月8日(土)・9日(日)  
午後7時～9時まで

### 2. 場所

### 3. 内容

本願寺小樽別院 境内  
子供盆踊り、大人盆踊り、  
模擬店、お楽しみ抽選会等

### 4. 服装

### 5. その他

自由(仮装可)  
雨天の場合は中止となります。  
又、午後六時以降は境内への車  
の乗り入れをご遠慮下さい。

## 納骨堂でのお盆参りについて(お願い)

一、他の方の仏壇より仏具を借りないようにして  
下さい。(また仏具がなくなった場合、寺務所  
に連絡して下さい。)

一、火の元には充分ご注意下さい。

一、水を供えないで下さい。

一、花瓶に水をいれないで下さい。

一、お線香は香炉に入るくらいに折って、ねかせ  
て入れて下さい。

一、お供え物はお持ち帰り下さい。

お互いに迷惑のかからないように、気もちよくお  
参りできるよう、心がけて下さい。



冠婚葬祭御料理 仕出し 宴会場

とほほる

とも居

小樽市花園4丁目19番14号  
電話(23)2267

一般建築・設計施工  
型枠工事・取付解体・請負一式  
鉄筋工事・工事製作・請負一式  
附帯する為・土工工事・請負一式

## 小林建設株式会社

小樽市新光1丁目29番20号  
電話(0134)52-1117番  
ファックス(0134)54-7896番  
夜間(0134)54-5750番

仏壇は心のよりどころ...

まごころこめて  
ご奉仕いたします。



仏壇、仏具、お宮、神具、寺院莊嚴仏具

仏壇・仏具の

善光堂

小樽市花園2丁目5番5号

佐々木仏壇店  
電話(0134)25-6105番

# ご 案 内

## お 晨 朝

毎日 午前6時30分

## 常 例 布 教

毎月7日～11日 午後2時  
13日～16日 午後2時

## 同 事 食

毎月8日 正午

## 仏教青年会

毎月1回 午後7時

## 仏教婦人会

毎月27日 正午(おときあり)

## 仏教壮年会

毎月6日 午後7時

## おつとめ教室

毎月2回(火曜日) 午後2時

## ボーイ・カブスカウト活動

毎月2回(土曜日) 午後2時

## 日曜仏教講座

毎月1回(3日曜日) 午前9時30分

## 19日講

毎月19日 正午

## 各説教所の法座

- 奥沢説教所 樹心会 5日 午後7時
- 唯信講 10日 正午
- 若竹説教所 彰心会 7日 午後7時
- 緑説教所 無量講 9日 午後6時
- 新光説教所 法友会 13日 午後6時

## 新職員紹介



ひの  
日野 尊行  
たかゆき

○趣 味 楽器演奏・映画鑑賞・水泳・音楽鑑賞(ロック・ジャズ・オーラルディーズ)

食べること。料理。

○特 技 楽器演奏・水泳・料理

○生年月日 昭和45年6月5日生まれ 28才ふたご座

○血液型 B型

○出身地 大阪府

○資格 美容師免許

## コメント

○この度、ご縁により本願寺小樽別院でお世話になることになりました日野です。はじめのうちは何かとお迷惑をかけることもあるかと思いますが、ご門徒のみなさんと、ともどもにいろいろと勉強させていただきたく思いますので、どうか応援よろしくお願いいたします。

